

ガバナンス改革による総合的マネジメントの実現

2016年4月 総合企画部の設置について

1. 背景

日本の大学において、ガバナンス改革及びマネジメントの高度化が強く求められており、中央教育審議会の答申においても繰り返し言及がなされている。関西学院大学は日本の大学のグローバル化と大学改革を促進することを目的とした文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択され、その構想調書において「総合企画室（仮称）の設置」を記載し、審査委員会の評価結果においてもこの点が高く評価された。

2. 目的

経営と教学の一体的な総合的マネジメントをめざし、財務、人事、施設、情報など中長期経営を見据えた大綱的計画を策定するために総合企画部を2016年4月1日付けで設置する。

理事長・学長のリーダーシップに基づく総合的マネジメントを実現するために、大学マネジメント特有の知識・能力を有した専門職員集団で形成し、理事長・学長を直下で支える。教学・財務・人事・施設・情報の諸計画の連携と機構・学部・部署の中期構想の連携を進めるための具体策を考察・遂行する。また、PDCA サイクルの質を向上させるために、計画段階の外部環境分析、課題抽出、プロセス設計、原案作成、指標開発・目標設定等、評価段階の進捗管理、成果検証等の実務を高い次元で遂行できる機能を蓄積する。加えて、入試・就職・ブランドイメージなどについて他大学との相対的な関係を見るデータや、新中期計画の施策について進捗状況（工程評価）、アウトプット（結果）、アウトカム（成果）、インパクト（社会的影響）の評価データ等の経営戦略への活用など現在の企画室が有している IR 機能をさらに強化する。

3. 組織の位置づけ・担当理事

学院本部の組織と位置付ける。企画担当理事を置く。

4. 構成

総合企画部は以下の業務で構成する。

- 1) 総合企画
- 2) 大学企画
- 3) グローバル化推進
- 4) 総合学園企画
- 5) 評価情報分析
- 6) 認可申請

学院総合企画会議の事務局、学院の総合的課題への対応、将来構想・中期総合経営計画、スーパーグローバル大学等事業、一貫教育、認証評価・自己点検評価・学校評価、認可申請等に関する業務を統括する。